

令和3年度 社会福祉法人弥富市社会福祉協議会事業報告

令和3年3月22日理事会、評議員会を開催し、令和3年度事業計画並びに予算が審議可決された。これに基づいて民間社会福祉事業の効果的運営と組織化活動を推進し、地域福祉の向上に努めた。具体的内容は次のとおりである。

【法人運営部門】

1 総務事業

(1) 法人運営事業

ア 理事会・評議員会の開催

- ・6月14日（月） 令和2年度 事業報告及び決算等の審議理事会（書面審議）
- ・6月28日（月） 令和2年度 事業報告及び決算等の審議定時評議員会（書面審議）
- ・3月24日（木） 令和4年度 事業計画及び予算等の審議理事会・評議員会

イ 社会福祉協議会会員募集

本会の目的達成のため、区長・区長補助員を通じて会員加入に協力をいただいた。
〔会費合計 3,367,620円〕

(2) 企画広報事業

高額寄付者等の顕彰を行い、社協だより『やとみの福祉』（8月、1月）の発行、本会ホームページや市の広報紙等を活用した情報発信等を行うことにより、本会に対する市民の理解と支援及び活動への参加を促進した。

オリジナルマスコットキャラクター『しゃらんちゃん』のPRに努めた。

2 福祉援助活動事業

(1) 心配ごと相談所事業

ア 心配ごと相談所の開設

毎月3回（市総合福祉センター2回、十四山総合福祉センター1回）

心配ごと相談（人権擁護委員・民生委員による）相談；11件（行政相談4件）

法律相談（弁護士による）相談；83件

司法書士相談 相談；6件

結婚相談 相談；男性7件、女性2件

登録者数 当年度（累計）；男性5（16）名、女性2（8）名

イ 見舞金の贈呈

〔火事見舞；0件〕

ウ 法外援護費支給

〔支給実績；1件〕

(2) 福祉用具短期貸出事業

車いすの短期貸出を行った。

〔貸出件数；18件、貸出台数；49台、貸出日数；360日〕

3 資金貸付事業

(1) 生活福祉資金貸付事業

愛知県社会福祉協議会の生活福祉資金貸付制度の業務委託を受け、低所得者世帯や高齢者世帯、障がい者世帯等に対し、その世帯の経済的自立と生活意欲の助長促進を図り安定した生活を送れるよう生活福祉資金貸付の相談や関係書類の確認、審査等を民生委員協議会と協力しながら行った。

[相談件数 ; 701件、貸付実績 ; 276件]

(2) 暮らし資金貸付事業

愛知県社会福祉協議会の暮らし資金制度の業務委託を受け、低所得者世帯に対し、生活を保全し経済的自立の助長を図るために、暮らしの維持に必要なつなぎ資金の貸付相談や関係書類の確認、審査等を民生委員協議会と協力しながら行った。

[相談件数 ; 0件、貸付実績 ; 0件]

4 共同募金委員会

(1) 共同募金委員会に関する事務を行った。

【地域福祉活動推進部門】

1 地域福祉事業

(1) 福祉でまちづくり事業

ア 地域福祉活動事業

中学生、高校生等を対象に市内福祉施設等でのボランティア体験活動を通じて、社会福祉の啓発と青少年の社会参加の契機を図った。また、複数の市内福祉施設や団体と連携した事業展開により、福祉施設と地域の関わりや受援力（支援を受ける力）の意識化を図った。

・ 7月～11月に開催 参加者数 90名（延べ人数）

（協力実施福祉施設）

社会福祉法人 弥富福祉会（輪中の郷） （高齢者 通所 入所）

社会福祉法人 愛燦会（長寿の里） （高齢者 通所 入所）

株式会社主人公 風の子びれっじ （障がい児・者 通所）

株式会社中央商事 てくてくぷらす（チャイルドハート東海やとみ）

（障がい児 通所）

放課後デイサービス つみき （障がい児 通所）

青少年ボランティアサークル「SMILE」 （地域活動）

音訳ボランティア （障がい者 情報保証）

本法人 チャレンジハウス弥富 （障がい者 通所）

弥富市共同募金委員会

（趣旨賛同福祉施設）

社会福祉法人 愛知県厚生事業団（愛厚弥富の里）（障がい者 通所 入所）

イ 福祉体験作文・共同募金作品コンクール

優秀作品の表彰を行いました。※福祉講演会と同時開催

・ 12月12日（日） 十四山スポーツセンター 第2アリーナ 47名参加

ウ 結婚活動支援事業

独身男女の出会いの場づくりとして2/11の『婚活パーティー』に向けて広報にて募集をかけたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

※過去の成立カップルの内4組がご成婚されました。

(2) 団体育成事業

各種団体の活動費の助成を行うほか、事業計画及び実施の援助を行った。

- ・弥富市福寿会連合会（64単位福寿会）― 役員会等及び各種行事開催協力
- ・弥富市遺族会 ― 役員会及び各種行事開催協力
- ・身体障害者福祉会 ― 各種行事開催協力
- ・ひまわり会（心身障害児者父母の会）― 各種行事開催協力
- ・弥富市民生委員協議会、弥富市共同募金委員会、愛西断酒会弥富支部、すっここの会 ― 活動費助成
- ・弥富市子ども会連絡協議会 ― 役員会等及び各種行事開催協力

(3) 戦没者追悼式受託事業

戦没者遺族らとともに『戦没者追悼式』を開催し、戦没者を偲び、平和を誓った。

- ・8月6日（金） 十四山スポーツセンター 29名参加

2 敬老事業

(1) 敬老会受託事業

- ・「敬老記念品配布事業」昭和17年12月31日以前に生まれた（数え80歳以上）市在住の方4,284名にオリジナル布製マスクを配布
- ・「米寿祝い品贈呈事業」昭和9年生まれの市在住の方233名に記念品（商品券）を贈呈

(2) 金婚式受託事業

金婚を迎えられたご夫婦を対象に『金婚式』を開催し、結婚50周年を祝った。

- ・11月3日（水・祝）市総合福祉センター 39組参加／50組申込

3 共同募金配分金事業

(1) 高齢者福祉活動事業

弥富市民生委員協議会の協力を得て、68歳以上の一人暮らし高齢者を対象に、『ふれあい昼食会』を開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため市全体及び地区別開催を中止し、歳末におせち料理又はお歳暮を配布。3月に川柳募集の呼びかけをした。

(2) 障がい児者福祉活動事業

夏休み企画及び障がい者日帰りバス旅行

広報で市民へ周知し、募集をしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

(3) 母子父子福祉活動事業

夏休み企画

広報で市民へ周知し、募集をしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

(4) 児童青少年福祉活動事業

児童、生徒会の育成を図るため、学校募金実績額に応じて、配分金を交付した。

(5) ボランティア活動育成事業

ボランティアセンターを設置し、積極的な広報活動により市民のボランティアに対する理解を深めるとともに、ボランティア育成援助等を行った。

ア ボランティア団体・ボランティア登録

12グループ、登録201名（延べ人数）

イ ボランティア連絡協議会総会、役員会、部長会等開催協力

ウ ボランティア講座開催

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止、ボランティア団体周知のためチラシを作成し、3月末に市内に回覧した。

エ 西尾張ブロックボランティアフェスティバル

『心をつなぐボランティア～みんなで考えよう！！今だからできること～』

・12月18日（土）名古屋文理大学文化フォーラム中ホール

基調講演、シンポジウムなど 来場者数138名

(6) 福祉育成援助事業

ア 市内の学校が行う福祉関係事業を支援し、社会福祉に関する実践学習の機会として、車椅子、視覚障がい者ガイドヘルプ、手話、点字、音訳を体験する『福祉実践教室』を実施した。

・ 7月 1日（木）	弥生小学校	5年生	95名
・ 10月21日（木）	白鳥小学校	5年生	41名
・ 10月26日（火）	白鳥小学校	5年生	41名
・ 10月14日（木）	桜小学校	4年生	80名
・ 10月15日（金）	桜小学校	4年生	84名
・ 10月 6日（水）	日の出小学校	4年生	92名
・ 11月25日（木）	大藤小学校	5年生	29名
・ 10月22日（金）	栄南小学校	5・6年生	36名
・ 7月14日（水）	十四山西部小学校	5年生	34名
・ 10月13日（水）	十四山西部小学校	3・5年生	54名
・ 11月17日（水）	十四山西部小学校	4・6年生	42名
・ 6月24日（木）	十四山東部小学校	4年生	22名
・ 12月14日（火）	十四山東部小学校	4年生	22名
・ 11月 9日（火）	弥富中学校	1年生	222名
・ 11月10日（水）	弥富北中学校	1年生	134名
・ 11月11日（木）	十四山中学校	1年生	49名
・ 9月17日（金）	海翔高等学校	2年生	12名

イ 学校と協働し、『ふくし学習プログラム』の作成に取り組んだ。

・「障がい者福祉」や「高齢者福祉」といった対象化された福祉の学びではなく、児童自身も生活を送るこの弥富で毎日のあたりまえの暮らしを地域住民の話を聴くことや、交流を通して学ぶ取り組みを行った。『ふくし』は自身を含めた全ての人を対象である福祉観を意識したプログラムの形成に取り組んだ。

(7) 災害ボランティアセンター事業

地域との協働による災害復興体制の基盤整備に向けて、災害ボランティアセンターの周知を図った。

4 歳末たすけあい配分金事業

(1) 歳末たすけあい事業

福祉講演会 講師：加治良美

『東京2020パラリンピック競技大会を終え、今思うこと』

・12月12日（日） 十四山スポーツセンター 第2アリーナ 99名参加

【在宅福祉サービス推進部門】

1 居宅介護支援事業所

[弥富市社会福祉協議会なでしこ指定居宅介護支援事業所の開設及び運営]

(1) 居宅介護支援事業

ア 居宅介護支援事業

要介護状態及び要支援状態にある高齢者に対し、適正な居宅介護支援サービスの提供を行った。

【利用実績（要介護度別）】

	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
利用者数	4名	6名	14名	27名	18名	17名	4名	6名	96名

イ 要介護認定調査受託事業

要介護認定調査を行った。[調査件数；なでしこ居宅43件]

ウ 地域包括支援センター受託事業

弥富市地域包括支援センター北相談窓口の受託

高齢者が住み慣れた地域で、安心してその人らしい生活を継続するためにはどのような支援が必要かを把握し、適切なサービス機関又は制度の利用を促す等の支援を行った。

【年間実績 対象区分別】

なでしこ 居宅	相談件数	民生委員協議会定例会出席	地域ケア会議出席	
	34件	4回	参集型 7回	ZOOM型 4回

2 訪問介護事業所

[弥富市社会福祉協議会なでしこ指定訪問介護事業所の開設及び運営]

(1) 訪問介護事業

ア 訪問介護事業

要介護高齢者等に対し、訪問介護サービス等の提供を行った。

【利用実績（要介護度別）】

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
利用者数	8名	7名	3名	1名	4名	23名
訪問回数	568回	577回	334回	7回	673回	2,159回

イ 弥富市介護予防・日常生活支援総合事業

介護予防・生活支援サービス事業、訪問型サービスの実施

要支援者へのヘルパー派遣を行った。

	要支援1	要支援2	計
利用者数	5名	10名	15名
訪問回数	249回	563回	812回

(2) 障害者居宅介護等事業

ア 居宅介護事業

身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者及び児童に対し、居宅介護サービスの提供を行った。

【利用実績（区分別）】

	身体障がい者	知的障がい者	精神障がい者	同行援護	児 童	計
利用者数	9名	3名	5名	2名	0名	19名
訪問回数	1,069回	284回	255回	42回	0回	1,650回

イ 移動支援事業

身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者及び児童に対し、移動介護サービスの提供を行った。

【利用実績（区分別）】

	身体障がい者	知的障がい者	精神障がい者	児 童	計
利用者数	1名	0名	0名	0名	1名
訪問回数	23回	0回	0回	0回	23回

(3) ホームヘルプサービス事業

ア ホームヘルパー派遣受託事業

介護保険法の規定による要介護認定又は要支援認定を受けた方以外で必要な家庭に対して、身体介護及び家事援助等を行えるよう体制を整えた。

イ ホームヘルプ（自費）事業

自費によるホームヘルパーの派遣を行った。

[利用者数；1名、訪問回数；9回]

【福祉サービス利用支援部門】

1 相談支援事業所

[弥富市社会福祉協議会なでしこ指定障害者相談支援事業所の開設及び運営]

(1) 相談支援事業

ア 相談支援受託事業

身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者、難病等及び児童に対し、相談支援を行った。

【支援方法（延べ件数）】

訪 問	377件
来 所 相 談	143件
同 行	92件
電 話 相 談	1,401件
電子メール	17件
個別支援会議	5件
関係機関	76件
そ の 他	35件
合 計	2,146件

【相談者（延べ件数）】

本 人	1,056件
家 族	471件
職 場	59件
作 業 所	214件
学 校	12件
保 育 所	17件
行 政	197件
関係機関	720件
そ の 他	49件
合 計	2,795件

【相談実績（区分別）重複有】

	身体障がい者	知的障がい者	精神障がい者	難病等	児童	実人数計
利用者数	41名	52名	109名	9名	49名	256名

イ 障害支援区分認定調査受託事業

障害支援区分認定調査を行った。

	身体障がい者	知的障がい者	精神障がい者	難病	計
利用者数	17名	27名	34名	2名	80名

ウ 海部南部圏域障害者地域自立支援協議会関係事業

障害者地域自立支援協議会等に参画した。(オンライン開催含む)

運営会議	全体会	専門部会	海部圏域会議	地域ケア会議
10回	参集1回 書面開催1回	5回	参集1回 書面開催1回	12回

エ フリースペース『なごみの会』開催

- ・ 5月29日(土) 新型コロナウイルスにより中止
- ・ 7月31日(土) 新型コロナウイルスにより中止
- ・ 9月25日(土) 新型コロナウイルスにより中止
- ・ 11月27日(土) 新型コロナウイルスにより中止
- ・ 1月29日(土) 新型コロナウイルスにより中止
- ・ 3月26日(土) 新型コロナウイルスにより中止

オ『障がい者スポーツ交流会』 新型コロナウイルスにより中止

2 自立支援事業

(1) 日常生活自立支援受託事業

日常生活自立支援事業

認知症高齢者・知的障がい者・精神障がい者等の判断能力が十分でない方のために、福祉サービスを利用する際の援助や日常的な金銭管理、書類等の預かりサービスを行った。

【利用実績(累計)】

	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	計
契約者数	2(10)名	1(6)名	1(6)名	4(22)名
相談・支援件数	432件	209件	150件	791件

(2) 生活困窮者自立支援受託事業

生活困窮者自立支援事業

生活困窮者の自立の促進に関し、包括的な支援を行う相談支援窓口として『生活自立支援センター』の運営を行った。

	前年度から引続き支援	令和3年度新規			総数
		初回のみ支援	継続支援	計	
利用者数	9名	44名	112名	156名	165名

学習支援事業

生活困窮世帯の児童を対象に教育の機会均等及び必要な環境整備を図るために学習支援を行った。

	登録者数	年間延利用者数	年間延時間
利用者数	4名	76名	152時間

【施設福祉部門】

1 就労継続支援事業B型

『チャレンジハウス弥富』の指定管理を受け、経営した。

就労の機会を通じ、生産活動にかかる知識や能力の向上を図った。

機能回復訓練や生産活動、交流会等の実施及び参加

[令和4年3月31日現在、利用者数；14名]

2 地域活動支援センター

『地域活動支援センター十四山』の指定管理を受け、経営した。

創作活動や生産活動、交流会の実施及び参加

[令和4年3月31日現在、利用者数；9名]

〔 赤い羽根共同募金 〕

10月1日から12月31日まで、区長・区長補助員を通じた『戸別募金』、弥富市商工会法人部の協力による各種事業所を対象とした『法人募金』、市内の小中学校等で『学校募金』及び金融機関窓口等での『設置募金』等を実施した。

種別	募金額(単位;円)
戸別募金	2,193,657
街頭募金	27,536
イベント募金	54,593
職域募金	27,335
学校募金	111,944
設置募金	129,074
法人募金	120,000
グッズ募金等	102,401
歳末たすけあい募金	34,131
募金計	2,800,671
繰越金	10,005
自販機(県直接・個人)	61,813
総計	2,872,489